

音楽 No.2

このワークシートは学習のあと、
先生にわたしましょう。

6年 組

名前 _____

めあて 曲にこめられた思いを感じ取ろう

*「ふるさと」の音源は、授業での聴取または学校 HP 等からの限定配信をご利用ください。

学校からの配信は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRAS へ届け出のうえ、
パスワード等を用いた限定配信及びストリーミング配信（ダウンロード不可）で行ってください。

*歌唱の扱いは、家庭等校外での活動を視野に作成しています。授業で扱う場合はマスクの着用や
ソーシャルディスタンス、音量等にご留意ください。

1. 教科書 42 ページの「ふるさと」の詩を読み、1 番、2 番、3 番がそれぞれ、どんな気持ちを表した
曲かを想像しながら音源をききましょう。

*1 番、2 番、3 番の詩を現在の言葉で表現すると、おおよそ次のとおりです。

1 番 (昔) うさぎを追いかけたあの山や

小ぶなをつつたあの川のことが

(今も) 夢のように何度も思い出される

そんな(自分の)ふるさとを忘れることはできない

2 番 (ふるさとで暮らす) お父さんやお母さんはどうしているだろうか

友達は無事に元気で暮らしているだろうか

強い風雨などにあうと(※)

思い出すのはふるさとのことだ

3 番 自分の夢をかなえて(やろうと決めたことをやり切って)

いつの日か帰ろう

山は美しく、川は清らかな(私の)ふるさとへ

(※)「自分に苦しいことがあると」の言いかえともいわれます

★「ふるさと」の詩が表しているのは、大人が思っている気持ちと、子どもが思っている気持ち、
どちらでしょう。選んで○で囲みましょう。

[大人 ・ 子ども]

★どんな気持ちを表していますか。想像したことを自由に書きましょう。

2. 詩を声に出して読んでみましょう。言葉のリズムについて、気がついたことがありますか。

◎ヒント1：俳句は五・七・五の音数でしたね

◎ヒント2：詩の行ごと（楽ふの段ごと）に、リズムにちがいはあるかな？

3. 教科書 36 ページの楽ふを見ながら、音源をきいたり上のパートを歌ったりしましょう。

★上のパートは、この曲の主なせん律です。音げんに合わせて、上のパートのせんりつのリズムを打ったり歌ったりして、リズムを確かめましょう。

★それぞれの段のリズムを比べて、わかったことを○でかこんだり、シートに数字を書きこんだりしましょう。

・ 1 段めから 4 段めまで、それぞれのリズムは { 全くちがう。
全く同じ。

・ 段めと 段めと 段めは、リズムが全く同じです。

・ 一つの段だけ、ちがうリズムのせんりつがあります。それは 段めです。

★それぞれの段のせん律が、続く感じが落ち着く感じかを感じ取って、音げんをきいたり、歌ったりしましょう。そして、どちらかを○でかこみましょう。

- ・ 1 段め… 続く感じ ・ 落ち着く感じ
- ・ 2 段め… 続く感じ ・ 落ち着く感じ
- ・ 3 段め… 続く感じ ・ 落ち着く感じ
- ・ 4 段め… 続く感じ ・ 落ち着く感じ

4. 「ふるさと」の上のパートを、3拍子の指揮の動きをしながら、強弱記号を確かめて歌いましょう。

できたら○をつけましょう。

- () 上のパートを3拍子の指揮の動きをしながら歌うことができた
- () せん律の動きや強弱を感じながら歌うことができた
- () 少しむずかしかった

5. 「ふるさと」の下パートにちょう戦しましょう。

★下のパートを指でなぞりながら音げんをきいたり、合わせて歌ったりしましょう。

★下のパートの動きや役割について確かめましょう。合うものを選んで○をつけましょう。

- () 上のパートと同じせん律を歌う
- () 上のパートを追いかけるように動く
- () 上のパートと同じリズムで音を重ね、ひびきを豊かにする

★曲の特ちょうや、下のパートの役割、強弱を感じながら、下のパートを歌いましょう。

できたら○をつけましょう。

- () 下のパートを全部歌うことができた
- () せん律の動きや強弱を感じながら歌うことができた
- () 少しむずかしかった

6. 「ふるさと」は、どんな声や歌い方で歌うとぴったりだと思えますか。それはどうしてですか。

自分の思ったことを書きましょう。そして、歌ってみましょう。

(歌い方の例) ・落ち着いた感じで ・やさしく など

| どんな声や歌い方？ | その理由は？ |
|-----------|--------|
| | |